

令和3年10月25日

水辺の緑いっぱい作戦

令和3年10月25日、三笠市岡山小学校4年生の児童4名と一緒に「水辺の緑いっぱい作戦」を行いました。「水辺の緑いっぱい作戦」とは水に強い植物を湖岸に植え、緑を増やす取り組みです。

今回植樹した「エゾミソハギ」と「タチヤナギ」は、水に浸かっても枯れにくい性質から、湖岸の緑の拡大に適していることなどを自然に触れながら学び、植樹を行いました。

水辺の緑いっぱい作戦とは

定期的^{ずいぽつ}に水没するため、植物が育ちづらい。

ダム水位変動範囲

ダム湖

エゾミソハギやタチヤナギは、水に強い植物です。

数年前に植樹したタチヤナギの状況



※植樹した「エゾミソハギ」と「タチヤナギ」が成長すると、枝や種が採れるので、今後の「緑いっぱい作戦」でも使えます。

取組の状況

タチヤナギ



枝を埋める作業

エゾミソハギ



苗を埋める作業

植樹の指導は、NPO法人 近自然森づくり協会の岡村先生に協力して頂きました。